

(2026年9月4日発表)

9月14日 巴川河口水門整備促進期成同盟会 県知事要望の実施

【市長の出席 有】

巴川河口への早期の水門整備について、9月14日(月)に、巴川河口水門整備促進期成同盟会から静岡県知事に対して要望書を提出します。

【趣旨・背景】

- ・2025年9月、政府の地震調査研究推進本部は、最新の科学的知見を踏まえ、南海トラフ地震の長期評価を一部改訂し、地震発生確率は引き続き最も高いランクであると評価しました。
- ・静岡県の第4次地震被害想定では、発生頻度が比較的高く、大きな被害をもたらすとされる「レベル1規模の津波」が発生した場合であっても、巴川では津波が河川内を約3km以上さかのぼり、護岸を越えて浸水し、流域の約3,200軒の家屋が被災するとされています。
- ・こうした被害を減らすため、2025年9月、巴川下流域に位置する6つの連合自治会が中心となり、巴川河口への早期の水門整備を静岡県や国に対して要望することを目的に、巴川河口水門整備促進期成同盟会を設立しました。
- ・今回、本同盟会から県知事に対して、巴川河口への早期の水門整備について、要望書を提出します。

【開催日時・会場】

2026年9月14日(月曜日)15時30分～15時45分

静岡県庁東館5階 知事室(葵区追手町9-6)

【出席者(予定)】**・顧問**

衆議院議員 深澤 陽一(ふかざわ よういち)

静岡県議会議員 望月 香世子(もちづき かよこ)、盛月 寿美(もりづき ひろみ)

静岡市議会議員 大村 一雄(おおむら かずお)、静岡市長 難波 喬司

・役員

清水地区連合自治会長 隅倉 正員(すみくら まさかず)、浜田地区連合自治会長 植野 克秀(うえの かつひで)、

江尻地区連合自治会長 久保 道秋(くぼ みちあき)、不二見地区連合自治会長 山本 勉(やまもと つとむ)、

入江地区連合自治会長 加藤 勉(かとう つとむ)、岡地区連合自治会長 堀谷 一世(ほりや かずとし)、

静岡商工会議所 常務理事 松浦 高之(まつうら たかゆき)

【当日の流れ】

出席者紹介、要望書の手交、写真撮影、意見交換

【取材について】

事前申込・事前連絡ともに不要です。開催日時に直接会場へお越しください。

【問い合わせ先】

建設局 河川課(静岡庁舎 6 階)、担当:大塩・永田、電話:054-221-1131